大型機器メンテナンス建屋内における 休憩所サーベイの未実施について

福島第一原子力規制事務所

■ 事象概要

2020年7月1日、3日及び6日に、福島第一原子力発電所構内で協力企業が使用している大型機器メンテナンス建屋2階の休憩所（汚染のおそれのない管理対象区域）において、実施計画で求められている表面汚染密度と空気中の放射性物質濃度の測定を実施していなかったことを事業者が確認し、7月8日、現地原子力運転検査官に報告があった。

当該休憩所は、2020年4月1日～6月30日まではタンク除染・保管作業（作業主管：運用支援G）を委託された協力企業Aが使用しており、7月1日からは大型機器除染装置点検工事（作業主管：共用機械設備G）を委託された協力企業Bが使用していた。休憩所の使用者を変更する際には、放射線防護Gに共用機械設備Gが引継ぎ申請を行う必要があるが、共用機械設備Gは申請を行っておらず、その結果、7月1日以降、協力企業Bは、測定を所管する放射線防護Gの承認を得ないまま当該休憩所を使用しており、事業者による管理ができていなかった。

■ 保安活動の問題点（１）

１．休憩所における測定

放射線防護GMが、休憩所において、汚染のないことを確認するため毎日１回の表面汚染密度と空気中の放射性物質濃度の測定を、２０２０年７月１日、３日及び６日に実施していなかったことは、「実施計画 第１編 第７章 放射線管理 第６０条（外部放射線に係る線量当量率等の測定）第１項 各プログラム部長及び各GMは、表６０－１及び表６０－２（第４８条第１項（２）の区域内にある汚染のおそれのない管理対象区域内に限る）に定める管理対象区域内における測定項目について、同表に定める頻度で測定する。」の不履行に該当する。

■ 保安活動の問題点（２）

２．業務の管理

（１）作業主管 G：

休憩所の管理

共用機械設備 G M は、協力企業 B が休憩所を協力企業 A から引継ぎ 7 月 1 日から使用する際、「管理区域及び管理対象区域の設定解除・区域変更管理に関する手引き」に定めるエリア引継ぎ手続きを実施せず、放射線防護 G M の承認を得ず使用させており、休憩所の管理を実施していなかった。

測定実施の管理

作業主管である運用支援 G M 及び共用機械設備 G M は、「放射線管理基本マニュアル」に基づき、委託先の協力企業が実施した休憩所の測定結果を確認しておらず、委託先の測定実施に係る管理を行っていなかった。

なお、作業主管 G が個別に休憩所を設定し、維持管理を行う運用は 2012 年 7 月以降から実施していたが、2020 年 7 月時点で同様な 8 ヶ所の休憩所のうち、当該休憩所を含む 5 ヶ所において、協力企業は各休憩所の測定を実施していたものの、作業主管 G M はそれぞれの測定結果を確認しておらず、放射線防護 G M は協力企業から直接報告された結果を確認していた。長期間に亘り複数の休憩所で、作業主管 G が測定実施の管理を行わない状態が継続していた。

■ 保安活動の問題点（ 3 ）

（ 2 ）放射線防護 G :

測定結果の確認

放射線防護 G Mは、測定結果の報告を測定実施の 2 ～ 3 営業日後に受けており、即日確認していなかったため、測定の未実施を 7 月 8 日まで見過ごすこととなり、業務の管理が不十分であった。

休憩所の管理

放射線防護 G において、測定データを管理するチームと休憩所の設定、解除及び変更を管理するチームが分かれているが、チーム間のコミュニケーションが十分でなかった。このため、放射線防護 G が管理しない状態で協力企業 B が休憩所を使用することとなり、当該事象の発生に至った。

2 0 2 0 年 4 月に組織改編を行い、以前は両チームが別のグループに所属していたものを同じ放射線防護 G として統合したものの、業務を統括すべき放射線防護 G Mによる管理が不十分であり、組織としての業務の管理ができていなかった。

■ 保安活動の問題点（４）

以上のように、作業主管 G が休憩所の引継ぎ申請を行わなかったこと、作業主管 G M が協力企業による測定結果を確認していなかったこと、放射線防護 G M が測定結果を即日確認せず測定未実施を見過ごしたこと、放射線防護 G の測定データを管理するチームと区域区分を管理するチームのコミュニケーションが不十分であったことは、

「第 3 条（品質保証計画） 7 . 業務の計画及び実施 7 . 5 . 1 業務の管理 組織は、「業務の計画」（7 . 1 参照）に基づき業務を管理された状態で実施する。」の不履行に該当する。